

H30 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
1	馬路町	「まほろば・亀岡かわひがし」景観資産登録証交付に伴う来訪者への「おもてなし」に係る環境整備について	<p>川東地域には、七谷川の千本桜や水鳥の道のオニバスのほか、愛宕山や牛松山などの山並みを背景に一面に広がる田園風景など、日本の原風景ともいえる景観が広がっています。また、丹波七福神めぐりや出雲大神宮、車塚古墳など、多くの歴史文化を有しており、市内外から多くの観光客が訪れています。地域の皆様には、これら多くの歴史的文化遺産と豊かな地域資源の保存継承にご尽力をいただいております。市としても、これら魅力ある地域をPRするため、今年3月に亀岡市公式観光パンフレット「Leaf特別編集 京都亀岡」を作成、全戸配布を行いました。また自転車で巡ることをテーマとして特集として記載させていただくとともに、亀岡市観光協会が運営するレンタサイクル利用者には、当地域に特化した「ウォーキング・サイクリングマップ」を作成し宣伝しております。また、観光案内駒札についても、順次、設置や建直し等を行っており、今後も限られた予算の範囲ではありますが、優先順位を決めながら進めていきたいと考えております。</p>	産業観光部長	①実施	こん談会での回答のとおりです。
			<p>丹波ニュー風土記整備構想の中核と史跡丹波国分寺跡整備につきましては、史跡としての追加指定を受ける中で、その保存を目的として計画的に進めてきており、記念物の保存修理費用として環境整備を実施してきたところです。まだ河原林町の国の史跡指定を受けていない国分尼寺跡整備の課題もありますが、現状、整備実施計画を策定してから10年が経過する中で、社会的ニーズや事業の進捗状況等も踏まえ、昨年度に整備基本計画の見直しを行ってきたところです。文化財保護法の改正により、これまで保存・保護を中心としてきた部分が保護と活用に転換されるようになりました。これについては、国が保存・活用に向けた整備指針を示され、その後京都府が国の指針を踏まえて大綱を策定し、それに基づき市が文化財の活用計画を策定していくものと考えております。今後、国分寺跡の整備につきましては、地域の皆様のご意見をお聞きしながら進めてまいりたいと考えております。</p>	教育部長	②実施予定	今年度は、整備基本設計を行っており、来年度から、整備基本計画を基に整備を進めていきます。

H30 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
2	馬路町	自治会版ふるさと納税への返礼制度導入について	<p>ふるさと応援者を少しでも増やすだけでなく、繋がりを呼び戻すとの理念で取り組んでいただき感謝を申し上げます。この制度は、市外の方にアピールいただき、ふるさとへの想いをつないでいただく、上手くいけばUターンしていただき人口減少を食い止めることも期待しているところです。一つは、とりすぎではないかのご質問ですが、先日の自治委員会議でも市長から説明させていただきましたとおり、当面は1/2相当の還元で進めさせていただきまして、学校応援寄附金もあることから状況をふまえながら還元率については検討していきたいと考えております。</p> <p>2つ目の応援者から支援をもらうための何らかの工夫につきましては、移住定住促進も含めて研究していく必要があると思っております。単に寄付の目的を馬路町のためするだけでは、集まりにくいと思っておりますので、例えば馬路町で行う事業に対して寄附を呼びかけるなど、具体的な使い道を示し、目標を立てることで寄附を求めていく方法もあるのではないかと考えております。またこの事業は一過性のものであってはならないと思っておりますし、継続して納税を少しでも増やすために何らかのアクションを作る場だと思っておりますが、まだ制度が6月から始めたばかりで、まだまだ浸透していない状況であります。しばらくは状況を見ながら改善に向けて取り組んでいきたいと考えております。</p>	総務部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
3	馬路町	自治会版ふるさと納税への返礼制度導入について	<p>せっかく景観資産登録ができて、これによって色々な補助事業がついてくるということですので、まずは地域の宝をどのように磨いて発信するかだと思います。ひとつはどんな看板をどうやってつけていくか、またそれを表示するパンフレットも必要だと思います。亀岡市としても協力してまいりますし、逆に亀岡市も広報物を発行する中で民間の広告料をいただきながら行っておりますので、お話を伺う中にご紹介することもできるのではないかと考えております。そうすることで財政面的にも自治会に用意いただくお金が少しですが賄えるのではないかと考えております。</p> <p>丹波国分寺跡の再利用については、実は、みずのき寮さんが一部を農地として花を植えたいということで、補助金を出しながら取り組みを進めているところです。そういった意味でも駐車場が必要であると思っております。ガーデンの整備やコンサートを実施するなど色々な活用ができると思っており、亀岡市としても積極的に支援していきたいと思っておりますので、一度、4町協議会の中でお話させていただきたいと思っております。</p> <p>もう一つお願いがありまして、今、池尻の平の沢の池にだいふオニバスが開花してきております。そういうものをリアルタイムでアピールしていかなければならないと思っておりますし、ホームページやSNSでのPRが結果的にふるさと納税や自治会版ふるさと納税につながると思っております。一つは、協議会の中で是非ともニュー風土記の里構想のアピール的なものとして、SNS、フェイスブック、インスタグラムやホームページなど、亀岡市のほうもお手伝いしますのでぜひとも立ち上げていただきたいと思います。また、立ち上げには京都府の地域力再生事業を活用いただければと思いますのでよろしく願いいたします。地元の光をアピールしていかないとふるさと寄附金にもつながらないと思っておりますのでよろしく願いいたします。</p>	市長 (市長公室) (総務部) (教育部)	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。 丹波国分寺跡公園では、みずのきによる花の植栽を行っています。イベントなどに活用されるよう検討します。

H30 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
4	馬路町	宇津根大橋からの桂川右岸堤防敷(市道保津宇津根並河線)道路の拡幅整備について	補助金を活用しながら段階的に宇津根橋南詰交差点から亀岡駅北方面を結ぶ道路として、河川堤防を利用して拡幅改良をしているところです。これにつきましては、桂川右岸構想路線として、国道9号渋滞緩和や災害時における緊急輸送路として大変有効で効果が見込めることから、本市の都市計画マスタープランの道路体系の整備方針に位置付けているものです。また、これまでから川東地域より整備要望の強かった亀岡駅北口へのアクセス向上を図ることが求められていることと、スタジアムへのアクセス道路として優先的にその区間整備に取り組んでおります。今年度につきましては、京都府で取り組んでいただいております宇津根橋架け替え事業と当該道路事業の計画協議が整ったことから、宇津橋南詰付近に橋梁でも用地が必要であり、道路でも必要だという場所がありますので、連携してその用地取得を行う予定をしています。来年度以降も順次築造工事を進めていく予定をしており、国からの補助金の確保を図りながら一定区間築造が進めていますが、まだ車道や歩道部分が仕上がっていない状況ですので、これまで進めてきたところを仕上げ、事業効果の発言に努めたいと考えております。	まちづくり推進部 事業担当部長	①実施	宇津根橋との交差点部について宇津根橋改修に合わせ、市道側の整備も必要となるため、整備にかかる用地について今年度取得したところです。
5	馬路町	桂川左岸(月読橋下流)堤防敷地(月読橋・八軒屋線)拡幅整備について	スタジアムに併せた左岸道路の整備につきましては、川東地区においては市道池尻宇津根線の整備を行っているところであり、ほ場整備によりまして幹線農道も通っています。川東地域の道路網としましては、亀岡園部線、郷ノ口余部線、工事中の池尻宇津根線、自治会前や南丹高校前からの市道など、ほ場整備に伴い、多くの道路網が整備されており、非常に充実した地域であると考えております。市道池尻宇津根線については、国の交付金が思うようにならない状況であり、他の道路の状況も踏まえると道路の新設は困難であると考えております。本年度につきましては、七谷川を渡河する橋梁工事と馬路町地内の築造工事を約100m整備する予定としています。当該事業の財源は近年分配が厳しく事業進捗に影響しており完成の見通しが立てづらい状況ではありますが、選択と集中を基本に予算確保に努め順次工事に取り組み早期事業完了に向けて取り組んでまいります。	まちづくり推進部長	⑤困難	こん談会での回答のとおりです。

H30 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
6	馬路町	川東保育所早期移転改築、川東学園校舎増築および駐車場確保について	川東保育所の移転改築については、昨年度に川東4町自治会長及び川東保育所保護者会から要望をいただいております。川東保育所の園舎については、建築時から40年以上が経過し、老朽化の状況や耐震診断の状況から早期に耐震化工事・施設更新を検討していく必要があると考えております。施設更新の方向性については、工事に係る事業費や地域の教育・保育のニーズの状況を見ながら検討していく必要がありますが、本市の公立保育所については、施設の老朽化が進んでおり亀岡市全域の児童数の状況や保育ニーズも踏まえたうえで、計画的な施設整備を実施していく必要があると考えています。地域の教育・保育ニーズについては、認定こども園は保護者の就労の有無にかかわらず、就学前の子どもを受け入れることができ、従来の制度の枠組みを超え、幼稚園、保育所の利点を活かすことができる施設であると考えております。公立保育所の施設整備に係る全体計画を検討し、その中で川東保育所の施設更新についても検討していくこととし、その際には地元のご要望の内容や地域の実情も踏まえ、より良い施設更新を検討してまいります。	健康福祉部 子育て支援担当部長	③検討	こん談会での回答のとおりです。
			児童・生徒数の状況から申し上げますと今すぐに校舎を増築しなければならない状況ではありませんが、千代川小学校では土地区画整理事業による児童数の増加による対応が必要となっているところです。 また、校区につきましては住所地で指定しておりますので、幼稚園保育所、小中一貫までは今のところは考えておりませんが、今後様々な要因を考慮する中で児童・生徒数の推移を見ながら施設整備については必要があれば、それに対応できるように計画的に進めてまいりたいと考えております。	教育部長	⑥その他	現在のところ増築等の予定はありません。今後様々な要因を考慮する中で、課題があればそれに対応できるように計画的に施設整備を進めてまいりたいと考えております。
			京都府初の義務教育学校で小中一貫校では、今、学力も伸びているところであり、川東地域では河原林町を除いて移住定住促進エリアに指定いただいているところであり、調整区域のまちづくり指定制度が来年4月頃から指定がされていくのではないかと思います。多少、地域によって温度差がありますが、環境的には大変良くなってきておりますので、Iターン・Uターンが増えてくるのではないかと想定を教育委員会ではしているところです。本来であれば特認校制度で千代川エリアからであれば生徒にきていただければと思っていたのは事実ですが、人数が増えて返って地元の人が入れないようになって困るということで特認校制度は据え置きまして状況を確認していることでもあります。いろんな意味でいい条件が川東に揃ってきてはいますが、すぐに増築ではなく先に保育所のこともあります。また地元でも用地取得をしていただいているとお聞きしておりますので、全体的なバランスやタイミングも考えながら前向きに考えてまいりたいと考えております。	市長 (市長公室) (健康福祉部) (教育部)	②実施予定 ⑥その他	川東地域では現在、河原林町を除いて全ての町が京都府の移住促進特別区域に指定されています。河原林町でも現在平成31年3月の指定を目指して、亀岡市から京都府へ区域指定の申請を行っているところです。 これにより、川東地域全体として移住促進の動きを取ることが可能となってまいりますので、Iターン・Uターン者の確保に向けて、補助金制度などを組み合わせながら取り組みを進めてまいります。 こん談会での回答のとおりです。 現在のところ増築等の予定はありません。今後様々な要因を考慮する中で、課題があればそれに対応できるように計画的に施設整備を進めてまいりたいと考えております。

H30 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
7	馬路町	【質問事項等】 災害時における道路の通行止めに対する対策について	先日自民党の竹下総務会長が京都北部から南丹まで現場視察に来られ、南丹市の八木支所でこん談会がありました。竹下総務会長には、医師などの住民の生命を守る方々については、特別に事前に証明書を発行するなど、通行止めになっても緊急車両や医師車両を通してほしいということをお願いしました。併せて京都北部から京都市内に行く上でも亀岡を通らないと行くことが出来ないことから、国道9号線のダブルルート化によって雨が降っても通れるようにしてほしいと明確に要望し理解をいただいたところですが、そしてダブルルート化については市町村でできる範囲ではなく、また莫大な予算が必要となるため、医師の問題、通行止めの問題など、いざという時に陸の孤島にならないよう、国で新たな緊急の災害道路として実施してほしいと要望しましたので、亀岡市としても積極的に取り組んでいこうと考えています。	市長 (まちづくり推進部)	③検討	こん談会での回答のとおりです。
8	馬路町	【質問事項等】 養豚場の臭気について	地元の住民や自治会の方から連絡をいただく中で、現場に出向いた調査をしております。また関係する部署や家畜の場合は京都府の保健所があり、振興局の方々とも連携を図りながら巡視をしているところです。また地元を含め府・市の職員や京都学園大学の先生にも入っていただき、丹波畜産に係る環境保全委員会で意見交換や情報共有を図っているところです。新しい所長につきましてはマイナスからのスタートということでこれまでのイメージを払拭したいとの思いで来ていただいたところであり、意識改革には時間を要するとのことですが、以前に比べますと場内もきれいにしていただいているところです。時間によっては臭いがあるとの電話もいただいていることから、臭気の原因についても管理者が意識的に動いていただいているところがあります。またカラスについても、土づくりセンターを含め、地域の方にご迷惑をおかけしております。豚舎の場合すべてに網を張ることが困難であるため、テグスを張り巡らせていただいているところです。まだまだ十分な対応とはなってはいませんが、継続的に取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。	産業観光部長	②実施予定	本件に関する取組状況については、懇談会での回答のとおりですが、特に、カラス対策のテグスについては、支柱にファイバーポールを使うなど、もう少し工夫をこらした形での実施を考えています。
			糞尿は環境問題ですので、市としてもいち早く対応して事業者への何らかの指導をしなければならないと考えておりますし、馬路町にも市の職員がいますので情報を収集することはできますが、地元の方も気づかれましたら遠慮なく市役所に連絡いただければと思います。	市長 (産業観光部)	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
9	馬路町	【質問事項等】 市道5号線のカーブミラーの設置について	危険な場所であると認識しており、検討したいと考えていますのでよろしくお願いいたします。	まちづくり推進部 事業担当部長	②実施予定	平成30年度、要望箇所について設置する予定です。
10	馬路町	【質問事項等】 馬路町では街灯のLED化が完了するようだが、三ツ辻区内の街路灯のLED化について3年前に同和対策として要望をさせてもらったが、同様に対応してほしい	実質、街路灯の助成金と同和対策かかる事業につきましては所管部署も異なり予算の出所も異なることから、現状を確認しまして今後協議させていただければと考えておりますのでよろしくお願いいたします。	市長 (まちづくり推進部)	③検討	こん談会での回答のとおりです。
11	馬路町	【質問事項等】 緊急通報装置の利用負担について	平成30年7月から生活保護世帯を除いて緊急通報装置について、月1,000円を負担いただきたいの話をしております。先に民生児童委員に通知をさせていただいているところですが、各家庭を訪問いただいて必要性の確認と事業の説明をさせていただいているところです。これにつきましては過去2回アンケート調査を行いました。約8割の方から負担金を支払ってでも継続したいとお話もありますし、負担額についても月500円～1,000円であれば負担できるとのお話をいただきました。ただ、生活保護の方からは負担いただかないこととしておりますし、今後もできるだけ安価で提供できるよう取り組んでまいりたいと考えております。	健康福祉部長	⑥その他	生活保護世帯を除いて、契約されています各家庭を訪問させていただき、自己負担金の必要性和事業の説明をさせていただきました。留守宅につきましては、再訪問や郵送をいたしました。また、説明訪問に時間を要しましたため、7月から予定しておりました負担金のお支払いを8月に繰り下げ、利用者の同意の上で負担金をいただいております。